

ナークニー 三下げ

くり返し

合 老上四 中 五 老 四 中七五 中 工五中

うむ くとう や

七 中 四 五七四 合老四 老 四 老 四 中

あ ま た

五 七 四 五七四 中 五 中 七 中 七 八

やま ふ どう に あ てい

四 中 五 中 七 中 工 五 中 五 工 中

ん ョ

上 老 四 五七四 老 四 中 五 七 四 中七

とうけ ゆ

五 中 工五合老上 老 四 五七四 合老四 老

ふい じゃ み と

四 老 四 中 五 老 四 五七四 中 五 中

う てい じゆ ん な ら ん

七 中 七 八 四 中 五 中 七 中 工 中

上 七 四 五七

一、思事やあまた

山程（やまふどう）にあていん

渡海（とけ）ゆ隔（ふいじや）じや

みとうてい

自由もならん

三、我肝寂さびと

干瀬叩く波や

変わて思無蔵が

名残立ちゆさ

四、空飛ぶる鳥ぬ

物言やちよん云りばよ

自由ならん無蔵に

いやいすしが

五、身に余る恩義

如何し忘らりが

胸内に積むる

我身の思い

二、鳥（とうる）や唄るとうん

夜（ゆ）や明けてえ呉（くい）るな

まりぬ手枕ぬ

語れでむぬ